

グローバルな人を育てる



大畑雅幸教育長

年が明け、本年度をまとめる時期になりました。現在、教育委員会では、市内各小中学校の校長、教頭との懇談会を実施しています。目的は、本年度の学校課題について成果と課題を明らかにし、来年度の教育計画を構想するためです。

先日、串原小学校・串原中学校の西田校長及び両教頭との懇談を行いました。西田校長が着任してからの3年間、得意な俳句を通して児童生徒全員に賞を取らせたり、昨年度から開催されている南地区中学校合唱交流会では、最も少人数ではあっても、他の4中学校の生徒や教職員が驚くほどの力強い合唱を披露したりして、児童生徒に自信を持たせる教育活動をしていただき、心から感謝をしているところです。来年度

は、「串原には串原歌舞伎があり、中山太鼓がある。これを核にして更に郷土愛を育てたい。」と抱負を語られました。私は、たいへん心強く思うとともに、一つお願いをしました。「恵那市には串原歌舞伎がある、恵那市には中山太鼓がある、という意識が育つ教育活動を行ってください。」

以前、全国的に流行った言葉で、「グローバル」という言葉があります。グローバルとローカルという一見、相反する言葉を合わせた造語です。国際社会で通用する能力や視点、経験をもって、地域社会や地域経済の活性化や持続的発展を考えることです。「自分は恵那市民の一人である」という意識に立てば、市内各地にある先人の業績や伝統、文化等の“誇り”をもっと沢山共有でき、また最も身近にある“誇り”も、もっと広範囲で捉え、より力強い自信となります。

急激な少子化と、これに伴う学校の小規模化に悩む昨今ですが、恵那市学校教育の重点『主体性と社会性、郷土愛の育成』のもと、恵那市の学校で学ぶ子ども達を、グローバルな人に育てたいと思います。ご理解とご支援をお願いします。

『ワークライフバランス』



西尾修欣教育委員

♪24時間戦えますかー♪ 1988年6月、栄養ドリンクのコマーシャルソングとして大ヒットした曲のワンフレーズです。

バブル期のサラリーマンの仕事振りを鼓舞していますが、その後のバブル崩壊、少し持ち直した景気もリーマンショックで冷や水を浴びせられたものの、最近やっと上昇気流に乗れそうな気配がしているといいます。しかし誰も24時間戦えとは言いません。仕事というオフィシャルな時間とプライベートな時間と上手に調和をとりましょうという『ワークライフバランス』という考え方が主流です。

翻って教員という仕事も過酷な職種と言って良いでしょう。多くの先生方が情熱を持ってその職に就き子ども達を指導なさっていることではと思いますが、教師も人の子・人の親であるわけで、当然その家庭生活も大切にしなければいけません。昔聞いた話ですが、「明るい豊かな社会を築き上げよう」というスローガンの下、そのために暗い家庭にしまっている実態。何とも笑えない状況です。文科省では部活動の指導を外部に委託する提案や完全休校日を推奨するなどしています。恵那市教育委員会でも各種の施策を通じて先生方の過重な負担を減らすべく検討しているところですが、先生方も自分のこととして知恵を絞りながらご自身のワークライフバランスに取り組んで下さることを期待します。教師という仕事の資本は身体です。肉体的にも精神的にも健康で、充実した生活の中で子ども達に接していただければ幸甚です。

第15回下田歌子賞表彰式・記念イベントを開催

*** 生涯学習まちづくりセンター ***

恵那市先人顕彰事業、第15回下田歌子賞表彰式・記念イベントが、昨年12月16日(土)、岩村コミュニティセンターで開催されました。女子教育の先駆者で、歌人としても名高い郷土の先人、下田歌子先生の生誕150年を迎えるにあたり、旧岩村町がエッセー募集を通して下田歌子先生の業績を顕彰しつつ、生き方や考え方を共に考え学ぼうと始めたもので15回目となりました。今回はエッセー1, 373点、短歌2, 280点の応募をいただき、表彰式が行われ、出席した23人が小坂市長、城島実践女子大学・実践女子短期大学部学長、細井「下田歌子賞」実行委員会委員長よりそれぞれ表彰を受けました。午後から記念イベントが行われエッセーの部の小学校の部と中高生の部で出席した受賞者が作品を朗読し、来場者による会場投票を行い、得票数の多かった各部上位3名がさらに嚶鳴協議会賞を受賞しました。また、実践女子学園中学校・高等学校の卒業生で、元タカラジェンヌの初風緑さんが特別ゲストとしてトークショーに出



岩邑中学校 2年沼田さんの朗読

演し受賞者のエッセー朗読の感想を述べられるとともに客席まで降りて参加者と話されるなど多くの感動を与えていただきました。さらに宝塚で培った抜群の歌唱力を誇る歌声も披露していただき多くの来場者を魅了しました。屋外では恵那農業高校生がシクラメン、恵那南高校生が栗の甘露煮を販売し、岩邑小学校と中学校の児童生徒が投票用紙の回収に協力、恵那南高校生は矢がすり袴姿で表彰の手伝いや会場案内をするなどイベントに華を添えました。下田歌子先生の教え、生き方、考え方はこの先人顕彰事業を通じて末永く後世に伝えてまいりたいと思います。

インスタ映え「ウォールアート」出現 笑顔があふれる恵那スケート場に

*** 恵那スケート場 ***

岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場は日本で最西端・最南端にある国際規格の400mスピードスケートリンクで、市内にある唯一の県のレジャー施設です。夏季・冬季共に全国大会が開催されます。冬季シーズンの最終日は2月18日で感謝デーとして滑走料無料で楽しんでいただけます。

今年度は新たな取り組みとして、世界で流行しているウォールアート「天使の羽」を7月に設置いたしました。この壁画をバックに人が立ち、一体となる写真を撮影して楽しむものです。これ目当てのみの観光客が2千人以上来場され、この天使の羽によって、製氷工事の季間中「歴代1位」の来場者数を記録しました。全国大会に出場する選手達もこぞって撮影されていけました。スケート終了後に



撮影されていくお客様が後を絶ちません。遠くは広島・東京からも来場されました。

「ウォールアートによるまちづくり」を提唱したところ、市内外に10箇所近く設置が予定されています。これをマップ化し、若い女性を中心に市内を周遊する仕掛け創りに取り組んでいます。

平成30年夏季シーズンは、4月15日の恵那峡ハーフマラソンを皮切りに営業を開始いたします。インラインスケート、フットサル、トレーニングマシンの他に、無料でプラズマカー、一輪車、エアートランポリン、スポンジツミキなどご利用いただけます。ご来場をお待ちしています。

